

「市民自治のまちづくりに関するアンケート調査票」集計結果

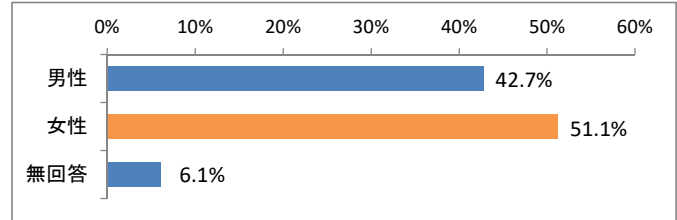
平成30年10月27日
総合政策部協働・男女平等参画室

回答数：500名のうち131名(回答率26.2%)
調査期間：平成30年9月28日～平成30年10月9日

【問1】あなた（回答者）について

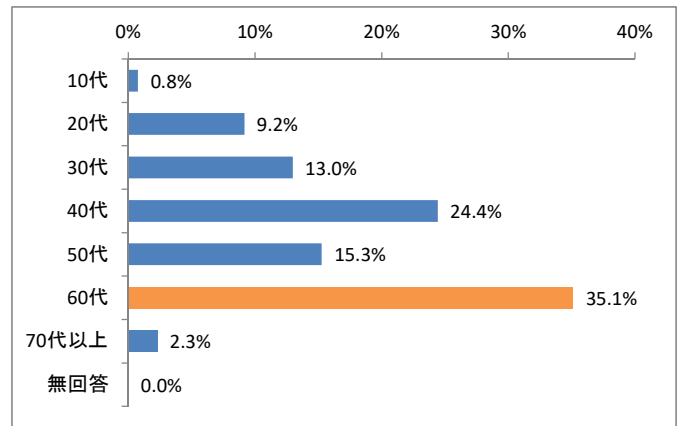
(1)性別

性別	集計	割合
男性	56	42.7%
女性	67	51.1%
無回答	8	6.1%
総計	131	100.0%



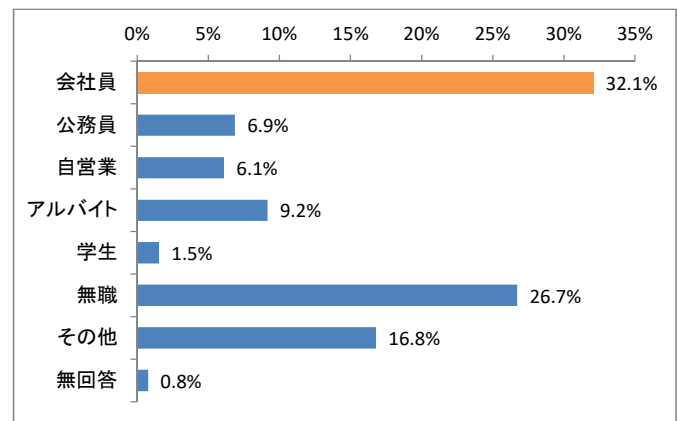
(2)年齢

年齢	集計	割合
10代	1	0.8%
20代	12	9.2%
30代	17	13.0%
40代	32	24.4%
50代	20	15.3%
60代	46	35.1%
70代以上	3	2.3%
無回答	0	0.0%
総計	131	100.0%



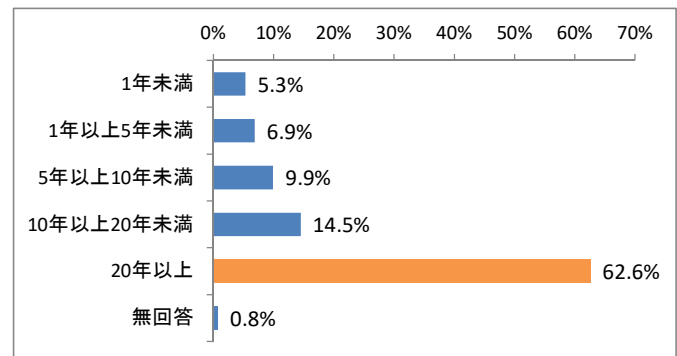
(3)職業

職業	集計	割合
会社員	42	32.1%
公務員	9	6.9%
自営業	8	6.1%
アルバイト	12	9.2%
学生	2	1.5%
無職	35	26.7%
その他	22	16.8%
無回答	1	0.8%
総計	131	100.0%



(4)居住年数

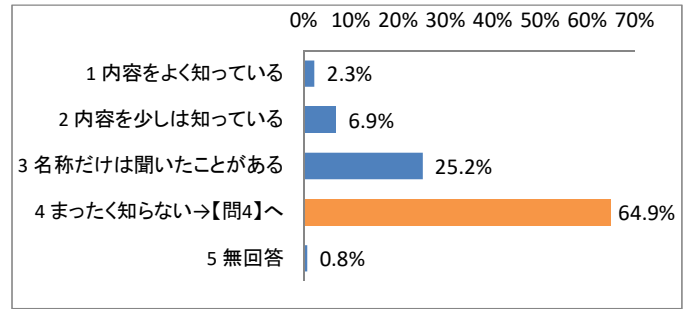
居住年数	集計	割合
1年未満	7	5.3%
1年以上5年未満	9	6.9%
5年以上10年未満	13	9.9%
10年以上20年未満	19	14.5%
20年以上	82	62.6%
無回答	1	0.8%
総計	131	100.0%



《自治基本条例について》

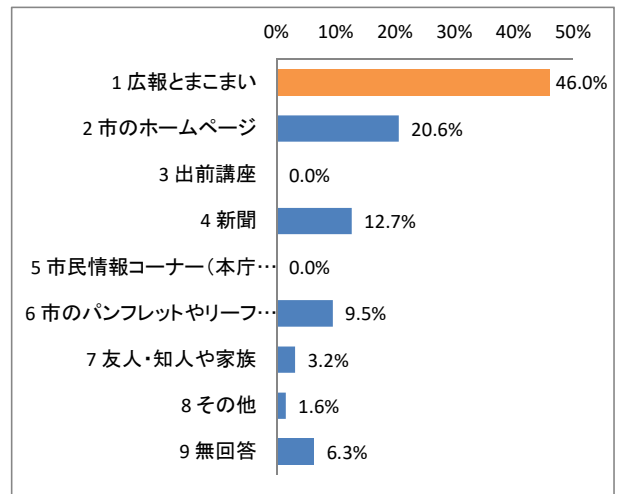
【問2】「苫小牧市自治基本条例」を知っていますか。

	集計	割合
1 内容をよく知っている	3	2.3%
2 内容を少しは知っている	9	6.9%
3 名称だけは聞いたことがある	33	25.2%
4 まったく知らない→【問4】へ	85	64.9%
5 無回答	1	0.8%
総計	131	100.0%



【問3】「苫小牧市自治基本条例」を何から知りましたか。（複数回答可）

	集計	割合
1 広報とまこまい	29	46.0%
2 市のホームページ	13	20.6%
3 出前講座	0	0.0%
4 新聞	8	12.7%
5 市民情報コーナー（本庁舎2階談話室）	0	0.0%
6 市のパンフレットやリーフレット	6	9.5%
7 友人・知人や家族	2	3.2%
8 その他	1	1.6%
9 無回答	4	6.3%
総計	63	100.0%

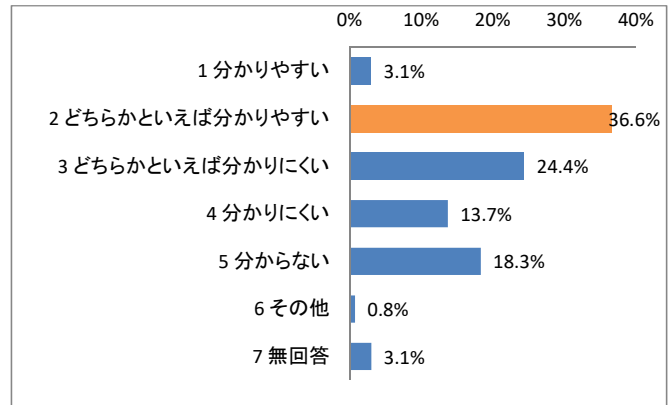


【問3】その他の回答

・以前、苫小牧市自治基本条例の作成に関わったことがある。

【問4】 苫小牧市が発信している情報が分かりやすいと思いますか。

	集計	割合
1 分かりやすい	4	3.1%
2 どちらかといえば分かりやすい	48	36.6%
3 どちらかといえば分かりにくい	32	24.4%
4 分かりにくい	18	13.7%
5 分からない	24	18.3%
6 その他	1	0.8%
7 無回答	4	3.1%
総計	131	100.0%

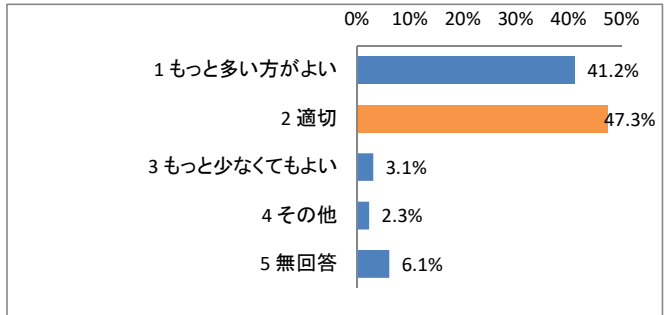


【問4】その他の回答

・情報を知る機会がない。

【問5】 苫小牧市が発信している情報の量についてどう感じますか。

	集計	割合
1 もっと多い方がよい	54	41.2%
2 適切	62	47.3%
3 もっと少なくてもよい	4	3.1%
4 その他	3	2.3%
5 無回答	8	6.1%
総計	131	100.0%

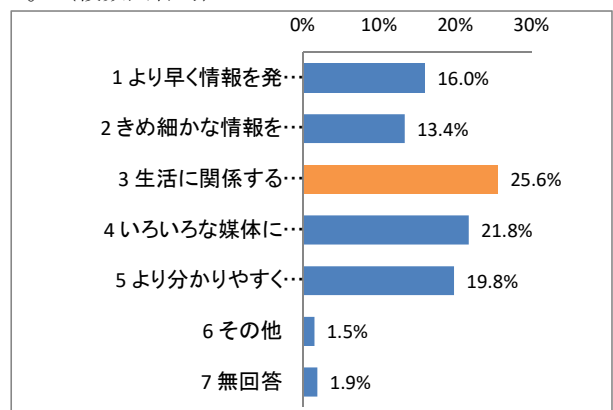


【問5】その他の回答

・わからない
 ・量としては適切だと思いますが、もっと広く伝える方法を考えるべきだと思います。
 ・地震の時は、広報車での案内をもっとしてほしい。

【問6】 効果的に情報を発信していくために何が重要だと思いますか。（複数回答可）

	集計	割合
1 より早く情報を発信する	42	16.0%
2 きめ細かな情報を発信する	35	13.4%
3 生活に関係する重要な情報を選別して発信する	67	25.6%
4 いろいろな媒体により情報を発信する	57	21.8%
5 より分かりやすく情報を発信する	52	19.8%
6 その他	4	1.5%
7 無回答	5	1.9%
総計	262	100.0%

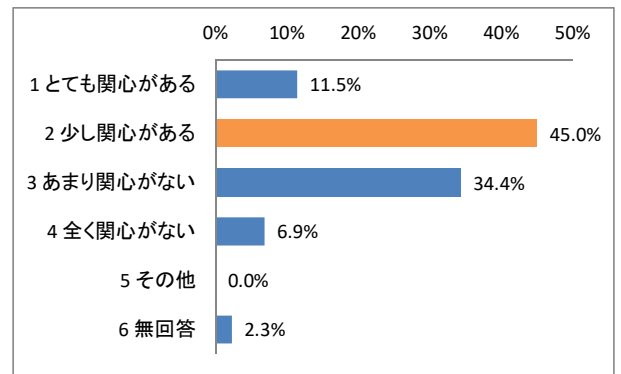


【問6】その他の回答

・特に制度が変更する場合、例えば児童扶養手当や生活保護受給者等には事前に情報を発信してほしい。
 ・前提がわからないので答えられない。
 ・自分のような施設入所者にはなかなか情報が入りにくい。
 ・情報提供する機会を増やしてほしい。

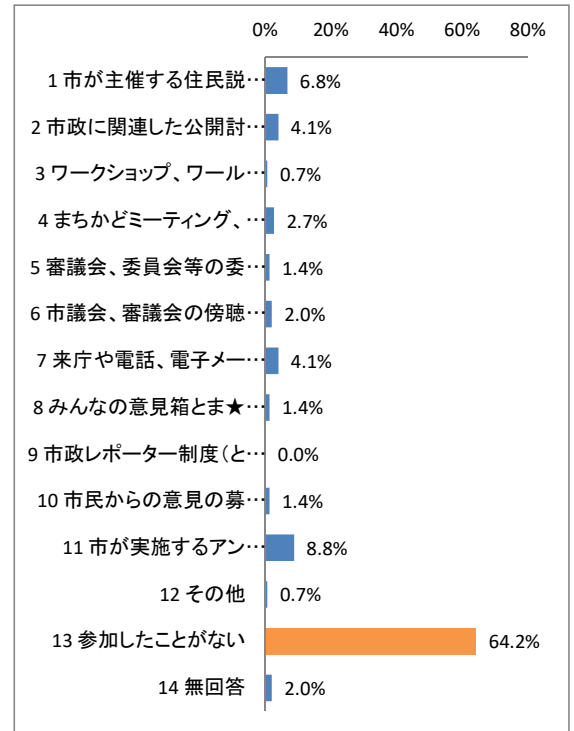
【問7】 苫小牧市の市政に関心がありますか。

	集計	割合
1 とても関心がある	15	11.5%
2 少し関心がある	59	45.0%
3 あまり関心がない	45	34.4%
4 全く関心がない	9	6.9%
5 その他	0	0.0%
6 無回答	3	2.3%
総計	131	100.0%



【問8】 市政に参加したことがありますか。（複数回答可）

	集計	割合
1 市が主催する住民説明会、意見交換会等への参加	10	6.8%
2 市政に関連した公開討論会、市民フォーラム、シンポジウムへの参加	6	4.1%
3 ワークショップ、ワールドカフェ等による意見交換	1	0.7%
4 まちかどミーティング、まちづくりトーク、ふれあいミーティング等への参加	4	2.7%
5 審議会、委員会等の委員として参加	2	1.4%
6 市議会、審議会の傍聴（インターネット中継を含む）	3	2.0%
7 来庁や電話、電子メール、FAX、手紙での提言・要望等の意見提出	6	4.1%
8 みんなの意見箱とま★ボによる意見提出	2	1.4%
9 市政レポーター制度（とまレポ）への参加	0	0.0%
10 市民からの意見の募集（パブリックコメント）による意見提出	2	1.4%
11 市が実施するアンケート調査に回答（本アンケート以外）	13	8.8%
12 その他	1	0.7%
13 参加したことがない	95	64.2%
14 無回答	3	2.0%
総計	148	100.0%



【問8】その他の回答

・障害があるので参加できない。

●まちかどミーティング、まちづくりトーク、ふれあいミーティング等への参加

※まちかどミーティング～市長が町内会へ出向いて地域の課題や要望についての意見交換を行う

まちづくりトーク～広く人が集まる施設などで、市民を市長が、まちづくりをテーマに意見交換を行う

ふれあいミーティング～市長が各種団体や市民グループに、団体の活動内容や課題などを通じて、広くまちづくりのアイデアを伺う

●審議会、委員会等の委員として参加

※学職経験者や市民活動団体からの推薦委員、公募市民などから構成された委員が、市政に関することについて議論等を行う

●みんなの意見箱とま★ボによる意見提出

※市政に関する意見を自由に記載し、みんなの意見箱とま★ボ（市内9ヶ所に設置）へ投函する

●市民レポーター制度（とまレポ）への参加

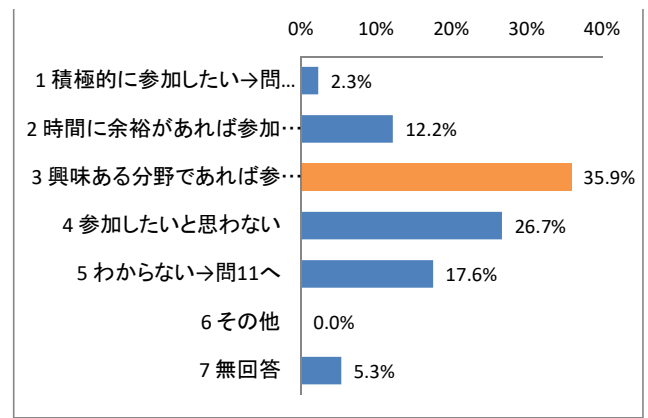
※公募市民が、市政レポーターとして市の各種事業等に参加し、市政に関する意見や提案を行う

●市民からの意見の募集（パブリックコメント）による意見提出

※市が作成した条例、計画等の素案に対し、書面により意見を提出する

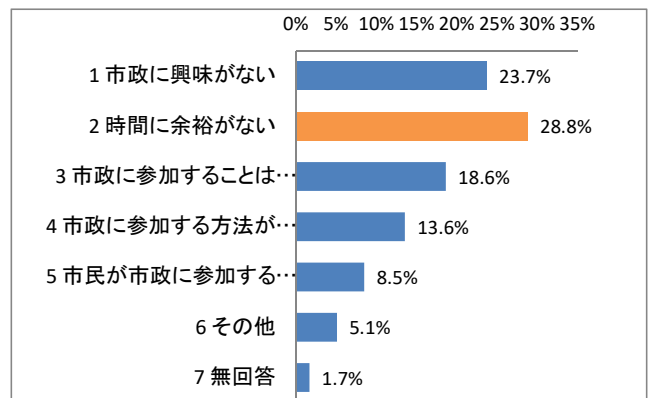
【問9】 今後（も）、市政に参加したいと思いますか。

	集計	割合
1 積極的に参加したい→問11へ	3	2.3%
2 時間に余裕があれば参加したい→問11へ	16	12.2%
3 興味ある分野であれば参加したい→問11へ	47	35.9%
4 参加したいと思わない	35	26.7%
5 わからない→問11へ	23	17.6%
6 その他	0	0.0%
7 無回答	7	5.3%
総計	131	100.0%



【問10】問9で「4 参加したいと思わない」を選択した方その理由は何ですか。(複数回答可)

課題解決のために必要なこと	集計	割合
1 市政に興味がない	14	23.7%
2 時間に余裕がない	17	28.8%
3 市政に参加することは面倒だから	11	18.6%
4 市政に参加する方法がわからない	8	13.6%
5 市民が市政に参加する必要性がない	5	8.5%
6 その他	3	5.1%
7 無回答	1	1.7%
総計	59	100.0%

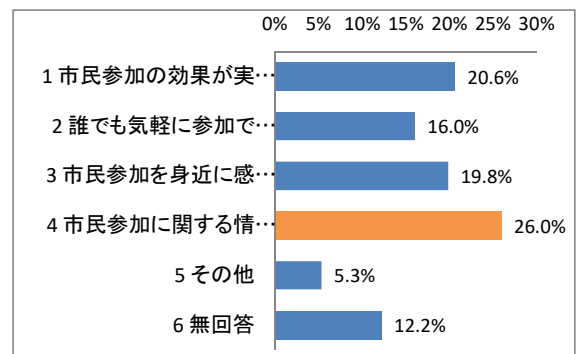


【問10】その他の回答

- ・市政がわからない、知らない。
- ・苫小牧市は好きですし、良い所だと思っています。若い方が流出していく流れはありますが、中高年にとっては過ごしやすい町です。年齢的に外向きのエネルギー不足になりつつあります。
- ・現状に不満がない。

【問11】市民が市政に参加しやすくなるために何が必要だと思いますか。

	集計	割合
1 市民参加の効果が実感できるようにする(意見が反映された事例紹介等)	27	20.6%
2 誰でも気軽に参加でき、意見を出しやすい参加機会を調整する	21	16.0%
3 市民参加を身近に感じられるようにする(市民参加の手法の紹介等)	26	19.8%
4 市民参加に関する情報を分かりやすく簡単に入手できるようにする	34	26.0%
5 その他	7	5.3%
6 無回答	16	12.2%
総計	131	100.0%

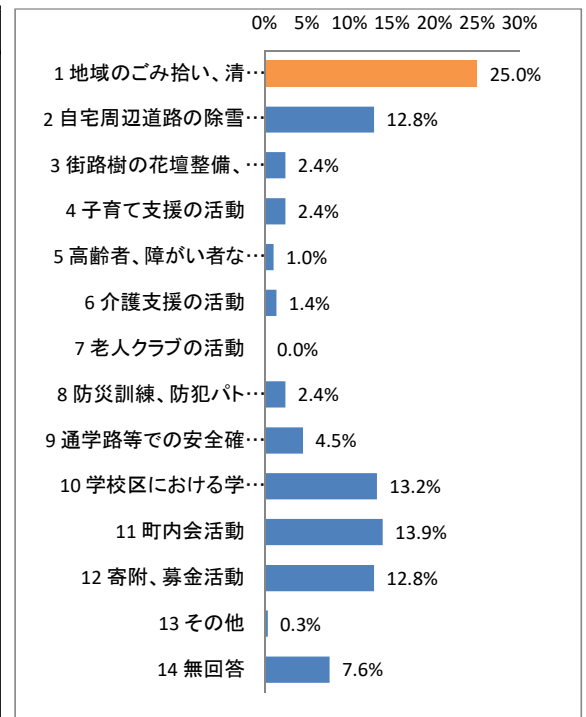


【問11】その他の回答

- ・地区ごとに細かく論ずる。・市議会議員にがんばってもらう。・わからない。・市民参加の方法について、実質的に市長選挙しかない。
- ・ワークショップ等は、平日昼間に時間のある老人や主婦しか参加できない。これをやっていることで、市民が市政に参加できていると思っているのは、ただやっています感を出しているだけ、アリバイ作りにしか感じられない。
- ・市民参加に関する情報を得ても、労働者は仕事があるので実質的に時間的余裕は無い。
- ・そもそも市民が市政に参加するとは、具体的にどういうことか知らないので答えようがない。
- ・年代別にテーマを絞って意見交換の場を設ける。(例)20代~40代は子育て環境について、親世代を支える社会について、60代~は高齢者ならではのまちづくりの参加について、若年世代の交流についてなど。

【問12】地域のまちづくりに参加したことがありますか。（複数回答可）

	集計	割合
1 地域のごみ拾い、清掃活動	72	25.0%
2 自宅周辺道路の除雪や凍結道路への砂まき	37	12.8%
3 街路樹の花壇整備、道路への植栽	7	2.4%
4 子育て支援の活動	7	2.4%
5 高齢者、障がい者などの安否確認、見守り活動	3	1.0%
6 介護支援の活動	4	1.4%
7 老人クラブの活動	0	0.0%
8 防災訓練、防犯パトロール	7	2.4%
9 通学路等での安全確認、交通安全啓発活動	13	4.5%
10 学校区における学校活動への協力（PTA、校区連等）	38	13.2%
11 町内会活動	40	13.9%
12 寄附、募金活動	37	12.8%
13 その他	1	0.3%
14 無回答	22	7.6%
総計	288	100.0%

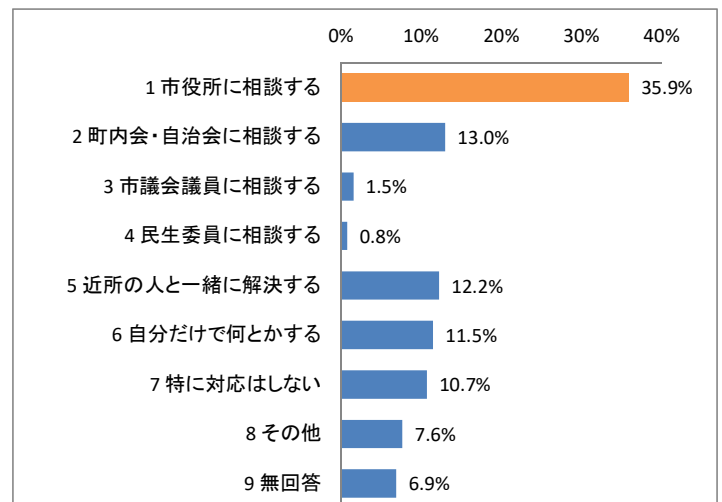


【問12】その他の回答

・障害者の参加できないことがないです。

【問13】地域や身の回りで問題が起こったときにどのように対応しますか。

	集計	割合
1 市役所に相談する	47	35.9%
2 町内会・自治会に相談する	17	13.0%
3 市議会議員に相談する	2	1.5%
4 民生委員に相談する	1	0.8%
5 近所の人と一緒に解決する	16	12.2%
6 自分だけで何とかする	15	11.5%
7 特に対応はしない	14	10.7%
8 その他	10	7.6%
9 無回答	9	6.9%
総計	131	100.0%

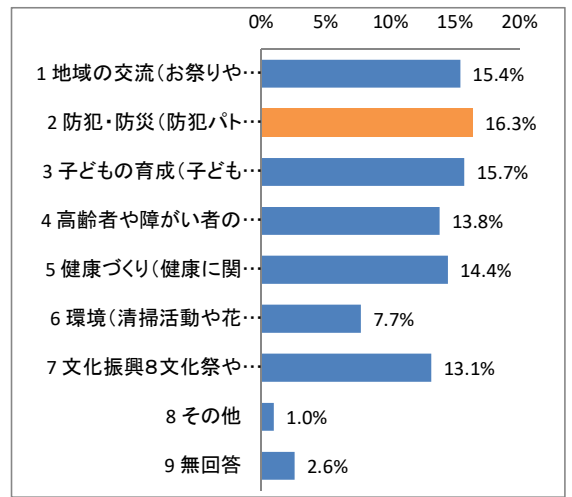


【問13】その他の回答

・生活支援員など知人に相談する。
 ・その問題によるが、なるべく自分だけで何とかする。
 ・施設職員に相談する。
 ・家族や友人に相談する。
 ・物事によっては、相談する相手が変わります。
 ・家族と相談して対応する。
 ・交番に相談する。
 ・問題がおきたことがない。
 ・誰に相談していいかわからない。

【問14】地域まちづくりの活動で関心のある分野は何ですか。（3つだけ回答）

	集計	割合
1 地域の交流（お祭りや運動会など）	48	15.4%
2 防犯・防災（防犯パトロールや防災訓練など）	51	16.3%
3 子どもの育成（子どもとの交流、子育て支援など）	49	15.7%
4 高齢者や障がい者の福祉（安否確認、見守り活動など）	43	13.8%
5 健康づくり（健康に関するセミナーや講習会など）	45	14.4%
6 環境（清掃活動や花壇整備など）	24	7.7%
7 文化振興 8 文化祭や音楽の公演など	41	13.1%
8 その他	3	1.0%
9 無回答	8	2.6%
総計	312	100.0%

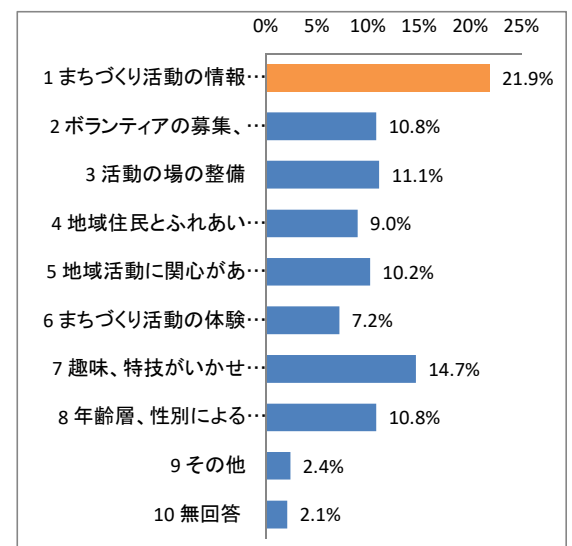


【問14】その他の回答

- ・NPO活動
- ・特になし
- ・スポーツ振興、設備の充実

【問15】まちづくり活動を進めるために何が必要だと思いますか。（3つだけ回答）

	集計	割合
1 まちづくり活動の情報提供	73	21.9%
2 ボランティアの募集、イベントの開催情報の提供	36	10.8%
3 活動の場の整備	37	11.1%
4 地域住民とふれあいサロン、仲間づくり交流会、親睦会等の情報提供	30	9.0%
5 地域活動に関心がある人たちのための情報交換、交流の機会の提供	34	10.2%
6 まちづくり活動の体験会、研修等の機会の提供	24	7.2%
7 趣味、特技がいかせる活動の紹介	49	14.7%
8 年齢層、性別による活動団体のマッチング	36	10.8%
9 その他	8	2.4%
10 無回答	7	2.1%
総計	334	100.0%



【問15】その他の回答

- ・情報提供のあり方から検討。
- ・市民による無償の労働力で「まちづくり活動」をすることが間違い、市民は市の為に税金を納めているので、それを有効利用して下さい。
- ・市議の報酬を減らして。
- ・パブリックコメントのわかりやすい説明、役所的説明や文章ではなく。
- ・特にこれといってなしです。
- ・隣人を核としたネットワーク作り。
- ・よくわからない。
- ・駅前の活性化。